



# 新刊案内



『風と行く者』 上橋 菜穂子/作 偕成社 T/ウナ
『トンネルの向こうに』 マイケル モーパール/作 小学館 T/モマ
『ナイスキャッチ』【4】 横沢 彰/作 新日本出版社 T/ヨア
『イマドキ家族のリアルと未来』 あすかわ/編著 かもがわ出版 T323/ケン
『<超・多国籍学校>は今日もにぎやか！』 菊池 聡/著 岩波書店 T376/キサ
『北欧式眠くならない数学の本』 クリスティン ダール/著 三省堂 T410/タク
『よろず占い処陰陽屋狐まつり』 天野 頌子/著 ポプラ社 TB/アシ
『神さまのいる書店』【2】 三萩 せんや/著 KADOKAWA TB/シヨ
『異世界千ト魔術師 (マジシャン)』【8】 内田 健/著 主婦の友社 TB/ウタ
『魔法科高校の劣等生』【27】 佐島 勤/著 KADOKAWA TB/サツ
『三千世界の鴉を殺し』【22】 津守 時生/著 新書館 TB/ツト
『後宮剣華伝』 はるおか りの/著 集英社 TB/ハリ



ティーンズのココロ通信 山口市立中央図書館 181号

平成31年 1月 1日 発行 〒753-0075 山口市中国町7-7

TEL: 083-901-1040 FAX: 083-901-1144

Eメール: info@lib-yama.jp



あけましておめでとうございます。  
 2019年になり、新しい一年が始まりました。  
 今年最初のテーマは【スタート】です。  
 様々なジャンルから一年の始まりにぴったりの本を集めました。普段読まない分類の本でも、読み始めると案外おもしろいですよ。新年1冊目に迷ったら、ココロ通信で司書が選んだ本を参考にしてみてくださいね。本年もよろしくお祈りします。



## ●『白をつなぐ』

まはら 三桃／著 小学館 T／マミ

舞台は毎年1月、箱根駅伝の後に開催される都道府県対抗男子駅伝。福岡を代表し、中学生～社会人の世代の違う7人が襷をつないでゴールを目指します。各自個性的で、抱える悩みや思いは違うが、一秒でも早く襷をつなぎたいという気持ちはみんな一緒。駅伝には良いこともあればアクシデントもあり、ハラハラドキドキ。読んでいる自分も一緒に走っているような気持ちになる一冊。駅伝シーズン到来！駅伝の感動と見所が詰まった作品を読んでみるのはいかがですか？ (Y. I)

## ●『さばお手帳のつくりかた 1年が楽しくなる』

さばお／著 KADOKAWA 002／サハ

みなさんは手帳を持っていますか？この本は「さばおにつき」というブログで手帳に書いた日記のページを公開している著者が、どんなふう到手帳を活用したり、ページを飾ったりしているのかを紹介しています。手帳づくりには決まりがないので、絵を描いたり、好きな写真やシールを貼ったり、お気に入りのペンで書いたり…。スケジュールや日記だけでなく、欲しいものや考えていることまで全部1冊に…。見るたびに楽しい気分になるし、頭の中を整理することができます。新しい年の始まりに素敵な手帳ライフをはじめよう！ (Y. I)

## ●『完訳クラシック赤毛のアン』

L. M. モンゴメリー／著 掛川 恭子／訳 TF／モル

新しい始まりには楽しみな気持ちもちろありませんが、不安もつきものです。舞台やアニメでも有名な「赤毛のアン」。孤児院で育ったアンが引き取られたグリーン・ゲイブルスで待っていたのは、知らない土地に新しい家族、学校や友達…聞いただけでも不安がいっぱいになりそうな環境。それでもアンは「ここには想像力の余地があるわ」と、すばらしい想像力で様々な事を乗り越え、運命を切り開き成長していきます。新しいスタートの心強い味方になってくれる本です。 (M. S)

## ●『もし文豪たちがカップ焼きそばの作り方を書いたら』

神田 桂一／著 菊池 良／著 宝島社 T／カケ

今年こそは小説を読むぞ。

そう思っても気が進まない、なんてことがありますよね。

この本はタイトル通り、文豪がひたすらカップ焼きそばを作っているだけです。しかし太宰治には太宰治の、村上春樹には村上春樹の文体があり、カップ焼きそばの作り方も人それぞれです。また、有名な文豪だけでなく、尾崎豊や星野源などのアーティストも登場します。知らない作家を知る機会にもなります。これをきっかけに小説デビューしてみましよう！(S. M)

## ●『ときめく御仏図鑑』

門賀 美央子／文 嵐山 晶／画 山と溪谷社 T186／モミ

仏教が6世紀に日本に伝来してから今日まで、多くの寺院が建てられました。ただ現代では、私たちと仏教の関係は以前よりも薄れているでしょう。しかし、寺院を訪れたり、博物館や美術館での展示を見に行ったりなど、興味がある人は多いのです。

ひとえに仏教と言っても、如来や菩薩などそれを表すものは様々です。この本は、その違いや特徴を美しい絵や写真と共にわかりやすく説明しており、誰でも手に取りやすいものになっています。あなたも仏教の世界を覗いてみませんか？ (S. M)

## ●『名作落語 50 席がマンガで読める本』

東 園子／著 ニツ目ユニット「成金」／解説 T779／アソ

1年の始まりや何かを始めるとき、昔から何かと縁起を担ぐ日本人。おせち料理や初夢の一富士二鷹三茄子は有名ですが、落語も縁起を担ぐ習慣や話がとて多く、縁起を担ぐのが好きすぎる旦那さんがお正月早々に周りの人たちを振り回す「かつぎ屋」というお話まであるほど。難しそうと思いがちな落語も、この本では漫画と解説で紹介されているので初めてでも読みやすいですよ。落語で一笑い。縁起の良いスタートがきれいな気がしませんか？ (M. S)